

# 全 員 協 議 会 議 事 録

日 時 令和 7 年 4 月 1 7 日 (木)

午前 1 0 時 0 0 分～

場 所 山元町役場 全員協議会室

欠席者なし

## 会 議 次 第

### 1 開 会 宣 告 【議長】

- 2 開会のあいさつ 【議長】 正副議長大船渡市寄附見舞訪問 山林火災 4 5 %の山が焼けていた。木々が炭化している。今後伐採し植林すること。復旧まで相当時間がかかる。住宅 1 0 2 棟被害。全消 5 0 棟、仮設 5 月在来工法で 5 0 棟建築。漁業 2 度の災害。養殖業の離業が危惧される。

### 3 報 告 事 項 【局長】

- (1) 前回の全員協議会から紙とタブレット併用開始。議会側の全協資料は前もって確認できるように資料をサイドボックスに入れておく。執行部開催分は現在、調整中。  
(2) 春季消防演習 平服での参加をお願いします。

### 4 協 議 事 項

#### (1) 議員間討議

##### ① 再審法改正を求める意見書の採択について

【議長】県内でも町として賛同が増えている。次回、定例会までに意見調整したい。仙台弁護士会から説明の機会を設ける申し出がある。

【遠藤】全国的な動きは。

【局長】把握はしていないが、全国弁護士会から仙台弁護士会が受けていることなので必要があれば確認する。

【遠藤】全員で進めるのがいいのでは。

【議長】全員協議会で検討する。

【局長】仙台弁護士会を 5 月 2 0 日開催の全員協議会（議会）に呼ぶか。

【議長】説明を聞く、5 月 2 0 日に決定。

【品堀】全国 5 0 5 議会で採択している。前向きに対応したい。

##### ② 議会議員のなり手不足問題について

【議長】若年層を意識した生活給としての報酬の改定も考えられる。今後、第三者の協力や町民参画による、報酬・定数の妥当性を検討していきたい。そのため、拓殖大学 河村和憲教授の町民研修会を開催することや、報酬検討委員会に各世代の町民に参画してもらい検討することを考えている。その結果を受けて町民説明会に持っていきたい。他市町においても同様な順序で検討を行っている。条例改正は次期改選後施行を想定している。スケジュールは議運で協議して進めていってほしい。視察等を通して先進事例を学び、次回改選では若い方が出るようになることを望んでいる。加美町、大和町の報酬等改正後の改選で新議員の当選が増えた。亘理町も次期改選に向けて検討中。歩調を合わせていく。今年度予算、講師料10万円、委員会の委員費用弁償は町の規定による。議運へ諮問している。

**山元町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例**

その他の委員長 (会長)	日額	6,700
その他の委員	日額	6,400

【齋藤】7年3月から諮問を受け、スケジュールでは5月視察までは至っていない。県内の先行事例に学ぶことが肝要。事務局では相手先に連絡しているが、大和町は全国からの視察があり受け入れできない。加美町は6月議会以降であれば。利府町はこれから。先行事例は事務局でHPやマスコミ報道から情報をまとめてもらい、確認してから、視察を考えている。視察及び要綱作成を共通理解の上、進めていきたいと考えている。4月下旬から5月上旬に情報共有する委員会を設けたい。資料の趣旨・目的の令和7年の表記は、軽微なものであるので訂正が必要。河村教授の東北大准教授から、拓殖大学教授に。費用弁償は町の委員会と合わせたもので考えられたい。

【岩佐】議員活動をどう町民に見られているのか考えていく必要がある。議会報告会、今回は10数名。以前は70名を超えていた。報酬の見直しもわかるが、町民への問題意識を持ってもらうことが必要なのではないかな。

【議長】なるべく多くの町民の参画が理解への一歩となる。加美町では1名の議員の年間活動記録を報告している。大和町は議員が入らず、町長の稼働日が300日で議員は3分の1。そこを根拠にして、町民からの意見はなかった。加美町はだいぶ意見があったようだ。議員の報酬で若年層が生活できるようにしたい。選挙に行かないのは同世代が出ていないからという意見もある。いろいろな世代の方が議員になることが町の環境整備にも結び付く。

【遠藤】生活給は全国的に理解されているのか。

【議長】報酬とされているが、年金廃止などを受けて、今後検討を詰めていく中で、生活ができることを前提としたい。

【岩佐】地方交付税の減少が大きい。そのことがなり手不足に結びついているのではないかな。

【議長】国でも県議会でも地方議員の報酬を見直ししてなり手不足を解消しようとしている。七ヶ宿町などは常任委員会を全員でやっているような状況。それらを含

めて検討していただきたいと思います。

【齋藤】議員という立場がなぜ置かれているのか、認識の住民とのギャップが大きい。議員業務の複雑化が進んでおり専門職となって、名誉職ではないということを確認してもらっていきたい。

③ ハラスメント条例（案）の取り扱いについて

【渡邊】近隣自治体例、角田市・蔵王町・東松島市・亶理町の事例を参考に作成した。組み立ては大きく変えていない。

【議長】次回に向け熟読してきていただき、全員協議会で検討する。

(2) その他  
なし

5 閉 会 宣 言

【議長】任期残り2年、なり手不足の件の検討を進めてほしい。

◎今後の主な行事予定

4月21日（月）	午前 9時30分	議会広報公聴常任委員会
22日（火）	午前10時00分	総務民生常任委員会
23日（水）	午前10時00分	産建教育常任委員会

（ 閉 会 午前10時54分 ）